

～ニイヌマ株商品 新型コロナウイルスの感染性を10万分の1に～

【 東北大学災害科学国際研究所 災害感染症学分野 児玉栄一教授にて評価試験を実施 】

土木建築資材、LED 照明製造販売を手掛けるニイヌマ株式会社(本社 宮城県石巻市 新沼利英社長)は、この度弊社が開発商品化したアルカリ除菌水「クリーンエッグ」が、東北大学災害科学国際研究所災害感染症学分野 児玉栄一教授による新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)不活化作用評価試験で、99.99%以上不活化させる効果が確認されたことを発表いたします。

東北大学災害科学国際研究所災害感染症学分野の試験報告書によると、「SARS-CoV-2 の感染性を1万分の1以下にさせ、ウイルス不活化能として 99.99%以上を有していると考えられる」と評価されました。具体的には「クリーンエッグ」を新型コロナウイルスに3分反応させるとウイルスの感染性を10万分の1以下に、30秒では1万分の1に低下させ、十分な不活化効果を示しました。

このクリーンエッグは、廃棄処分される鶏卵の殻を原材料としており、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」にも合致します。

弊社では新型コロナウイルス感染症の発生を受け、令和2年5月東北大学災害科学国際研究所災害感染症学分野との学術指導契約を締結し、作用評価試験をすすめていましたが、本年5月に同分野より試験報告をうけました。

※クリーンエッグによる SARS-CoV-2 不活化作用評価試験報告書より抜粋

